

海外安全対策情報

【2026年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などにつ
いて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

また、日本国内でも多発している警察官等を名乗る特殊詐欺について、当地在留邦
人にも電話し、個人情報、制服、身分証、逮捕状などを示すなどして警察官と誤信さ
せインターネットバンキングを介して送金させる手口が発生しています。注意点とし
ては下記のとおりです。

- 警察官等が突然スマホにビデオ通話やSNSで連絡することはありません。
- 警察官が警察手帳や逮捕状の画像を送ることは決してありません。
- 例え、ビデオ通話で身分証を提示されても絶対に信用せず、不審な電話等は一
度電話を切って当館又は最寄りの警察機関などにご相談ください。
- 相手から教示された番号には、決して折り返さないでください。
- 実在する警察署等の電話番号を偽造して表示させる手口も発生しています。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが徹底されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間に盛り場
などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意
しながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華美な服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

また、（特に酔った後など）日本語で大きな声を交わしながら歩かない。

海外安全対策情報

3. 事件・事故報道

(1) 重大事件・事故関連

ア 死亡事故（泰安市）

2024年9月3日朝※、山東省泰安市東平県の中学校前で、登校中の児童、保護者の列に送迎バスが突入し、11人が死亡、13人が負傷する重大事故が発生した。事故原因は運転手・孟某がブレーキとアクセルを踏み間違えたことによるものと認定された。事故を受け、運転手を含む関係者5人が刑事罰、公務員27人が行政処分を受けた。山東省应急管理庁は2026年6月、再発防止に向けた評価報告書を公表し、運輸企業の安全管理強化や学校周辺における登下校時の安全対策の徹底を関係機関に求めている。※本年6月に事故原因が公表されたため記載

イ 無人自動車による交通事故（青島市）

6月22日、山東省青島市において、某社の自律走行無人配送車が信号待ちの車両に追突し、3台が絡む事故、運転手・李某は頭部を負傷する人身事故が発生した。無人配送車は車間距離不保持により全責任を負うと認定されたが、事故処理の場で某社従業員が「通常の自動車保険には未加入」と説明したため、賠償をめぐるトラブルに発展したが、後に同社は約300万元の公共責任保険に加入していることを説明し、保険会社が賠償手続きを行うと表明した。査定額24万元の車両を所有する李某は、事故当時、同社が提示した10万元での示談を拒否し、保険会社による正式な賠償手続きを求めている。自律走行車両の保険制度のあり方について、社会的な議論を呼んでいる。

ウ 死亡事故（曲阜市）

6月27日午前11時頃、山東省曲阜市尼山鎮において、鳥居の一部が突然崩壊し、付近にいた7人が負傷、病院に搬送されたが、うち1人は死亡が確認された。事故発生後、関係当局が直ちに現場に駆けつけ対応しており、現在も事後原因を調査中としている。

(2) 窃盗事件関連

ア 電気自転車のバッテリー窃盗（青島市）

青島市城陽区の派出所は団地周辺、店舗前の路上に駐車中の電気自転車からバッテリーが盗まれたという通報を相次いで受理した。所要の捜査により警察は容疑者鮑某を特定し、4月13日、賃貸住宅にて逮捕、バッテリー5本を押収した。容疑者鮑某によると、金銭的に困窮していたため当初は電気自転車ごと盗んで売却しようとしたが、ほとんどの車両に鍵がかけられていたことからバッテリーに目をつけ、ヘルメットを着用して持ち主を装いながら窃盗を繰り返していたという。現在、鮑容疑者は公安機関により身柄を拘束され、法的措置が取られている。

イ 組織的盗掘（濰坊・臨沂・日照・淄博市）

6月、山東省高級人民法院は、容疑者冷某、邱某ら5人による大規模な古遺跡・古墓盗掘事件を公表した。公表によると被告らは2016年から2023年にかけて濰坊、臨沂、日照、淄博において、国家級、省級、市級に指定された遺跡や古墓を盗掘し、青銅鏡、西漢時代の装飾品など多数の貴重な文化財を売却し利益を得ていた。青州市人民法院は、それぞれ懲役3年から14年および罰金3万元から20万元を言い渡し、主犯冷某の違法所得283,900元についても追徴を命じた。

海外安全対策情報

ウ 車上ねらい（青島市）

6月20日、青島市平度市鳳台派出所は、団地内において無施錠の駐車車両から現金やタバコが盗まれたとの通報を受理した。警察は、防犯カメラの映像分析などから、深夜に電動自転車で団地内を徘徊、駐車車両のドアノブを手当たり次第に確認して無施錠車両へ犯行を及んだ容疑者2人を特定し、通報から1時間後に14歳の少年2人を現行犯逮捕した。2人は深夜に出歩く中で出来心から犯行に及んだことを認めており、警察は2人を行政拘留処分とした。

（3）詐欺事件

ア 詐欺（済南市）

4月、済南市開平路派出所は、公安当局を騙る詐欺事件を解決し、37,000元の全額被害回復に成功したと発表した。調べによると被害者趙某（高校生）が微信グループを通じて知り合った人物に警察官を名乗られ、「マネーロンダリング捜査への協力」を名目に脅迫され、微信経由で指定口座に合計37,000元を送金させられた。通報を受けた警察が資金の流れを追跡したところ、詐欺グループが同資金をネットショッピング内の電子マネーとして保有していることが判明し、管理者へ資金返還を要請、被害回復を成功させた。警察は「公安機関が電話で口座情報や送金を求めることは絶対にない」として、不審な連絡には応じないよう市民に注意を呼びかけている。

イ 詐欺（荷澤市）

5月、単県公安局徐寨派出所は刑事捜査大隊と連携し、知人を装った詐欺事件を検挙した。警察の発表によると、容疑者孫某は当初から金銭を騙し取る目的で被害者及び被害者家族とネットで知り合った後に接触。商売を口実にさまざまな名目で金銭を要求し、さらには自身の親族・友人への借金や銀行融資まで勧めるなど、巧みな手口で金銭を搾取した。通報を受けた派出所が刑事捜査大隊と合同で資金の流れを追跡し、関係者への聞き込み調査を経て容疑者孫某を検挙した。容疑者は不法に得た17万元を全額処分しており、現在、詐欺罪で刑事拘留されている。

ウ 詐欺、マネーロンダリング（青島市）

5月、青島市城陽警察は、海外電信詐欺グループと連携してマネーロンダリングを請け負っていた犯罪組織を摘発し、関与した13人全員を逮捕したと発表した。調べによると容疑者等は海外の詐欺グループから犯罪資金を指定口座に受け取った後、複数の口座を経由して迅速に資金を分散・洗浄しており、昨年11月中旬からわずか半月余りで150万元以上を送金していた。警察が資金の流れや通信記録を分析して捜査を進め、昨年12月初めに捜査チームが河北省唐山へ赴き、容疑者9人を検挙。銀行カード123枚、携帯電話11台、送金記録および犯罪資金を押収した。現在、13人全員が詐欺罪およびマネーロンダリング容疑で刑事拘留され、捜査は継続中としている。

エ 詐欺（徳州市）

5月、寧津県公安局は、路上駐車中の車両にポルノサイトのQRコード付きチラシを貼り付け、最終的に市民を詐欺サイトへ誘い込もうとした犯罪グループを摘発し、6人を検挙したと発表した。調べによると、4月9日、市民から「車のバックミラーに不審なチラシが貼られていた。」との通報を受けた刑事大隊が現場調査を

海外安全対策情報

行い、捜査の結果、容疑者牛某を主犯とする6人組の犯罪グループを特定し、自宅からミニプリンター・印刷用紙・大量のポルノチラシを押収した。容疑者等は深夜に路上や団地の駐車場へ出向き、チラシを貼り付ける行為を繰り返していたとして、6人全員が刑事拘留されている。

オ 詐欺（青島市）

6月、青島市城陽警察は、格安物件を紹介して入居者から家賃を騙し取る詐欺グループを摘発し、主犯格の容疑者祝某・李某を含む7人を逮捕したと発表した。調べによると詐欺グループは年払いを条件に家賃を受領し、家主への支払いは一切行わないという手口で各地において犯行を重ねており、被害件数70件以上、被害総額は100万元に達している。

カ 詐欺（青島市）

青島市嶗山公安局刑事捜査隊は6月23日未明、遼陽東路派出所と合同で、偽ブランドの携帯電話や高級時計を正規品と偽って路上販売する詐欺グループを一斉摘発し、メンバー5人全員を逮捕した。同グループは各地を転々としながら市民に粗悪品を高額で売りつける手口を繰り返しており、複数の被害届を受けた警察が追跡捜査の末に潜伏先を特定した。現場からは偽造の携帯電話や時計など多数の証拠品が押収され、グループは不正行為を認めている。警察は市民に対し、携帯電話や時計などの貴重品は必ず正規店舗で購入し、路上での格安販売には応じないように注意を呼びかけている。

（4）その他

ア 無許可ドローン飛行（済南市）

済南市槐蔭区公安局は、ドローン（無人航空機）の無許可飛行に関する不正事案2件を摘発し、行政処罰を科したと発表した。調べによると4月7日、容疑者陳某が嶗山公園内でドローンによる撮影を行っていたところ、槐蔭公安分局嶗山派出所の警察官に検挙された。また同日、容疑者劉某も交差点付近でドローンによる動画撮影中に、張庄路派出所によって現行犯逮捕された。調査の結果、両者が使用したドローンはいずれも実名登録がされておらず、管制空域内を無許可で飛行していたことが判明し、現在、公安機関から法律に基づく行政処罰を受けている。警察は、ドローンを飛行させる際には事前の実名登録と飛行許可申請等を必ず行い、各種法律を遵守するよう市民に対して改めて注意を呼びかけている。

イ 偽造ナンバープレート（青島市）

4月、青島市公安局黄島分局泊里派出所は、偽造ナンバープレートを使用して高速道路料金所を通行し、さらに過積載を繰り返していたトラック運転手の容疑者孫某を検挙したと発表した。調べによると容疑者孫某は4度に渡り偽造ナンバープレートを使用して高速道路料金所を通過し、車両積載量30トンであるところ常時80トン以上超過して運転を続けていたことが判明した。警察は道路交通安全法及び治安管理処罰法に基づき、行政拘留15日、罰金2,000円の処罰を科した。

ウ マネーロンダリング（青島市）

4月、北関派出所は反詐欺センターからの情報提供を下に、容疑者張某の銀行口座に詐欺関連資金6,800元が振り込まれた直後、複数の口座に分散送金されていたことを突き止め、マネーロンダリングの疑いで容疑者張某をその日の夜に逮捕した

海外安全対策情報

と発表した。調べによると、容疑者張某は知人から「口座を貸すだけで報酬が得られる」と勧誘を受け、自身の口座を詐欺グループに提供する見返りとして、送金額の3%を報酬として受け取っており、被害総額は3万元に上るとみられている。現在、関与した6人全員が刑事拘留されており、捜査は継続中としている。

エ 虚偽情報の流布（済南市）

5月、済南市公安局ネット安全支隊は、容疑者馬某がネット上でのフォロー獲得を目的に、他店で撮影された画像を引用し、「済南・青島のサムズクラブで食料品が盗み食いされた疑い」という虚偽情報をネット上に投稿、拡散したとして「治安管理処罰法」により行政拘留処分を科したと発表した。

4. 治安対策等報道

（1）山東公安庁

山東省公安庁は6月25日の記者会見で、企業ブランドを損なうネット上の違法行為に対する取締り状況を発表した。近年、一部のSNSアカウントや「ネット工作員」が企業に関する情報を故意に歪曲、拡散したり、金銭を要求する恐喝まがいの行為が横行しており、企業経営や評判に深刻な悪影響を及ぼしていた。これを受け、省内の公安機関は「浄網」特別作戦を展開し、企業関連のネット上の違法・犯罪行為を集中的に取締り、違法事件60件以上を摘発、容疑者86人を逮捕、違法アカウント1万1,000件以上を削除するなどの成果を発表し、当局は引き続き、健全なビジネス環境の整備に向けた取り締まりを強化していく方針を示している。